



人と環境にやさしいトランジットモデル都市をめざして RACDA

第 252 号

2024/ 11

車 1 割削減、渋滞半減 公共交通 2 倍を岡山で実現

■日本では、人口 100 万人以上の大都市圏であっても車依存が著しい。公共交通は独立採算の原則の下、近年では運転手不足を理由とした減便が深刻化している。高齢者などのための最低限の足の確保については過疎地を中心に地域公共交通政策として展開されている一方で、都市部の公共交通を車よりも選ばれる高いサービスレベルに保つような都市公共交通政策は乏しい。2000 年代には存在感のあった、パーソントリップ調査を起点とした都市・地域交通戦略も形骸化している。

そのような状況を打破するために、渋滞が社会問題化している熊本都市圏では「**車 1 割削減、渋滞半減、公共交通 2 倍**」という大胆な目標を掲げた産官学の取組が始まりつつある。また岡山、広島都市圏では、事業者間協調を軸に公費投入も交えた事業環境改善の取組も始まっている。

本勉強会では、岡山大学にて開催される土木計画学研究発表会に集まる都市交通有識者らと共に、各都市の事例を参照しながら、都市公共交通政策の再興について討議する。

日程：2024/11/15(金) 17:45-20:45

会場：岡山国際交流センター 8F イベントホール

オンライン：Zoom(URL は申込時に表示)

参加費：無料

主催：熊本都市交通リノベーション研究チーム(代表：東京大学 伊藤昌毅 准教授, NICT Beyond 5G 研究開発促進事業)

事務局：トラフィックブレイン 太田恒平

協力：NPO 法人 公共の交通ラクダ(RACDA)ほか
終了後、岡山駅付近にて懇親会(会費：実費)

■第1部：話題提供 趣旨説明

熊本都市圏「**車 1 割削減、渋滞半減、公共交通 2 倍**」をめざして(株)トラフィックブレイン 代表取締役 太田恒平



日本の都市交通政策の実態(仮)

(一財)計量計画研究所 研究員・芝浦工業大学 何 功

岡山・広島の公共交通の将来像

呉工業高等専門学校 教授 神田佑亮

岡山市 交通政策課 副主査 平田晋一

広島電鉄 交通政策課長 進矢光明

■第2部：討議(19:25 頃～) 討議テーマ

熊本・岡山・広島の取組

鉄道(JR 等)、路面電車/LRT、幹線バス

事業スキーム・財源、自動車への制約、国際比較

日本の交通政策・計画のあり方、市民運動・政治

参加予定コメンテーター(名前順) ※随時追加予定、

関西大学 教授 宇都宮浄人

RACDA 会長 岡将男

富山大学 特別研究教授 金山洋一

ウィーン工科大学 上席研究員 柴山多佳児

富山大学 特別研究教授 中川大

参加申込 Peatix

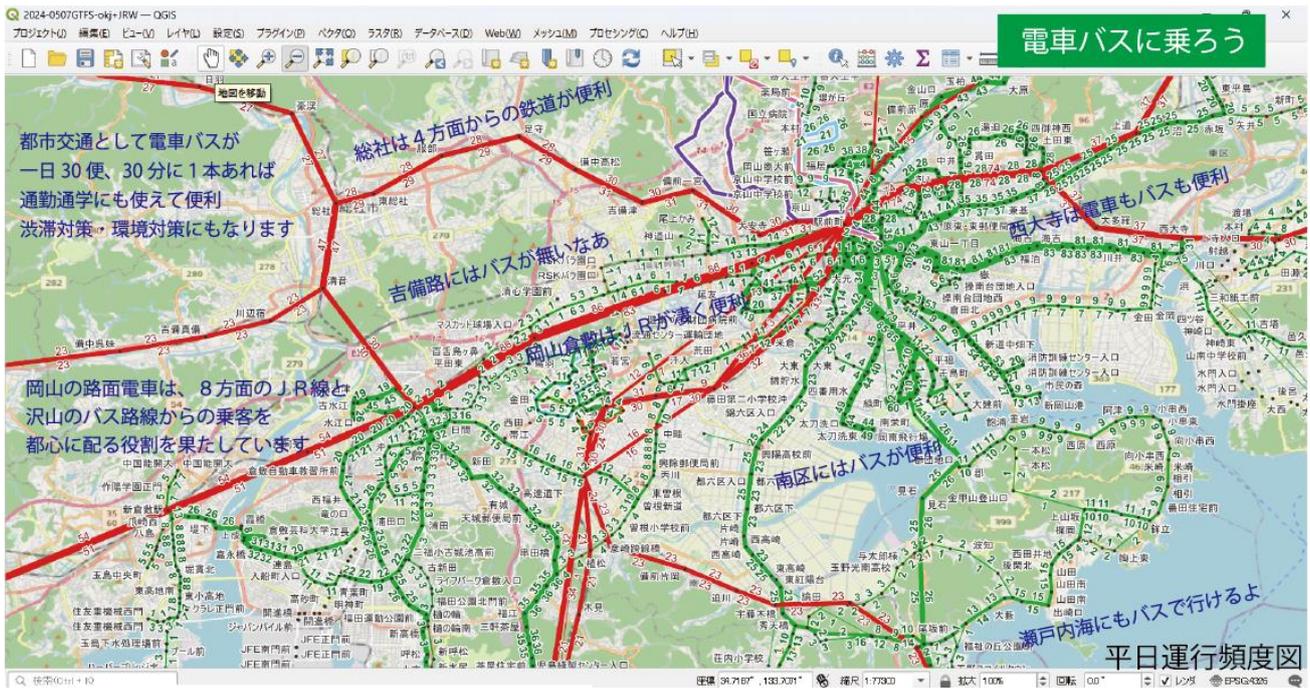
右 QR をスマホで読取

又は

090-3743-4778 岡

okj165@poppy.ocn.ne.jp





「車1割削減、渋滞半減、公共交通2倍」岡山試案

■JR普通列車のパターン化と増便

山陽本線・岡山—倉敷 15分毎、120便に増発、快速復活

岡山県南・福山都市圏の「中央線」(2号線渋滞対策)

東西方向の通勤通学、渋滞対策のキモ

吉備線・30分毎、備中高松まで15分毎に増発

赤穂線・長船15分毎の増発(東岡山—長船折返し追加)

瀬戸大橋線・岡山—茶屋町間の普通30分毎に増発

津山線・岡山—法界院の30分毎に増発

■吉備線LRT化の再検討、

行き違い施設増加で、7.5分パターン化まで可能

電化し加減速能力高、5駅新設で、同時間で利便性が向上

新型70%低床車輜で100km/h運転可能(将来都心乗入)

岡山—備前三門は従来路線を活用し、併用軌道部分の新規

計画は中止する(工期費用大幅圧縮)

バス再編—宮駅へのバス乗入、備中高松・足守コミバス新設

吉備路観光は各駅からコミバス、造山古墳結節点化

岡山スマートIC・岡山IC・総社IC間を無料化(高速誘導)

岡山西バイパス4車線立体化を急ぐ(渋滞対策)

■赤穂線高度化計画

城東高校駅新設、工場群のある北長船駅新設(長船駅止め

めを延伸して折り返し)

赤磐市中心部と平島・八日市のバスに接続する長船駅と長

船工場群巡回コミバスの新設(岡山市外郭環状バス線)

■瀬戸大橋線高度化計画

四国新幹線は、瀬戸大橋線完全複線化による中速新幹線として、ほくほく線160km運転をモデルに一部新線・トンネルで岡山・松山80分。(四国側はフル規格を要望)

瀬戸大橋・宇多津駅は既に新幹線対応済み

大元駅・西市駅・妹尾駅の交通結節点能力の拡大、コミバス新設

■津山線都心部高度化

津山線・吉備線の直通運転可能(以前6便程度設定)

備前原駅・玉柏駅のP&R交通結節点化

■JR線の大増便に応じたバス幹線網の大増便が必要

全体の投資計画を設定し、PSO

■総合施策・財源

岡山国道事務所のスマート通勤プログラムを基盤に、岡山県南都市圏渋滞対策チームを結成

岡山県が都市圏交通分担率目標数値を設定

渋滞対策のため、LRTだけでなく都市鉄道にも社会資本整備総合交付金活用して投資

(電車バス大増便にも道路投資と同様の財源確保必要)

「高校生を無料化」した市町村に交付税措置

四国新幹線予算の瀬戸大橋線複線化への活用

(上記現状の電車バス運行頻度図を元にRACDAの試案)

NPO 法人公共の交通ラクダ(RACDA)

事務局 〒700-0823 岡山市北区丸の内1-1-15 禁酒会館3F TEL&FAX 086-232-5502

E-mail: info@racda-okayama.org

URL: http://www.racda-okayama.org

RACDA

検索

